



地方独立行政法人
山梨県立病院機構
YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION

2025 研修医・専攻医募集案内

ONE STEP

一人ひとり、一歩ずつ。





From Board Chairman

重層屋根瓦指導で飛躍へのPlatform

この病院を15年間から見えてきました。客観的に見るのが難しくなりつつありますが、自身の教育体験、米国二大学 (Yale, USC) 6年、日本二大学 (千葉大16年、東大17年) 33年から鑑みても、「全方位/中核病院でのスタートは、将来のインシズエとなる」ことを保証します。全医師数230は卒後研修として指導を行う、One “Unified” Teamには最適な数字と考えます。さらに、臨床研究、国際誌投稿、国内外留学など、将来のキャリア形成に対応できるよう柔軟なプログラムにより、“One Package”としての卒直後研修2～5年をサポートいたします。

山梨県立病院機構理事長 東京大学名誉教授
小 俣 政 男



From Chief of Medical Clinic

当院は高度救命救急センター・総合周産期センターを備え、また、全国で32施設のみが選ばれたがんゲノム医療拠点病院の一つとなっています。また、ドクターヘリを有する県内唯一の三次救急病院でもあります。

医師数は現在228名で、うち専攻医49名・研修医51名と皆様の仲間となる若手医師が多く在籍しています。毎月院内全体のスタッフを対象に開催する抄読会であるMSGR (Medical Surgical Ground Rounds)、年に1回1年目研修医を対象とした症例報告および、2年目研修医を対象のテーマを決めた臨床研究発表会をはじめ、多くの研修会を開催しています。さらに、希望がある専攻医は週に1回ゲノム解析センターで遺伝子解析を行う研究が可能です。

一方、アメニティの充実も図り、研修医の住居である防音が完璧に施されたレジデントクォーターを完備し、また海外留学制度も充実しています。

医学生、初期研修医の皆さん、当院での初期研修・後期研修を開始し、ぜひ我々の仲間に加わりませんか。



山梨県立中央病院 院長
小 嶋 裕 一 郎



山梨県立北病院 院長
宮 田 量 治

専攻医プログラムの3年間は精神科医としての一生を決定づけると言ってもよい重要な期間です。北病院では、乳幼児・10歳未満の児童を除くすべての年代／精神疾患に対応し、初診の3割は20歳未満の思春期例です。救急急性期症例、指定医症例・専門医症例を無理なく経験でき、アルコール依存症や司法精神医学なども身近なものとして体験できます。精神科医として第一歩を踏み出そうとしている皆さんにはうってつけの病院と自負しています。

よい医師は、患者さんが育てるものです。たくさんの経験を通し、試行錯誤する過程も体験しながら、力をつけていきます。そのためには、最先端の情報を集めたりまとめたりすることも必要となります。研修中は大変なこともあるかもしれませんが、皆さんの一生の宝となるようにスタッフ一同頑張りますので、ぜひ一緒に新しい精神科臨床を切り開きましょう。

ONE Package

“世界に羽ばたく人材”を 独自のプログラムで育成します。

臨床研究、国際誌投稿、国内外留学等、個人の願望、将来のキャリア形成に応じる柔軟なプログラムにより、“One Package”としての卒直後研修5年をサポートいたします。

初期、後期の一貫研修を通してこの期間に当院でどれだけの臨床能力でアドバンテージがとれるか。Common Diseaseから希少な症例まで経験でき、今後の医師生活において重要な基盤を築けることができるプログラムで、卒後5、6年の間に臨床医として同世代の医師達を大きく凌駕する力をそれぞれの分野で身につけ、活躍しましょう。

約230名の医師のうち、100名が若手医師 “One Team” でサポートします。

高度救命救急センター

重篤な救急患者を24時間体制で受入

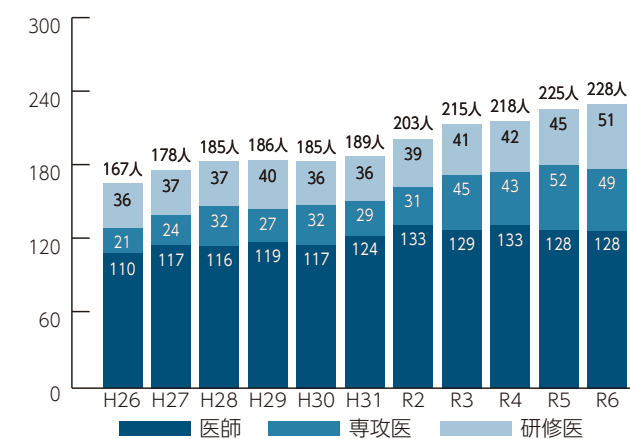
総合周産期母子医療センター

幅広い周産期医療を提供

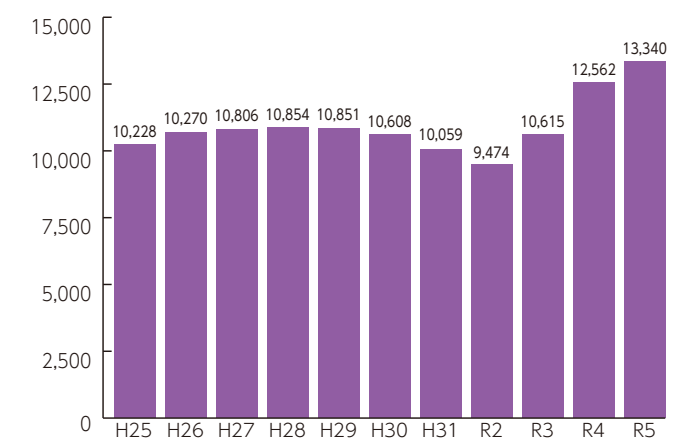
がんゲノム医療拠点病院

がん診療と遺伝診療体制を整備

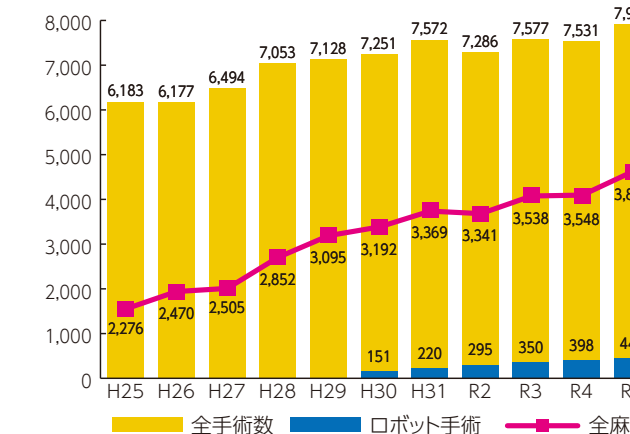
医師数



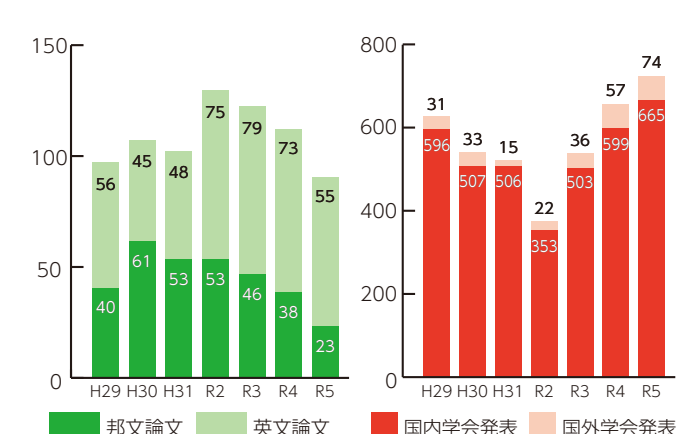
年間救急患者数



年間手術件数



学会発表数





From Program Manager

当院は、救急医療および各分野での最先端医療を提供する地域中核病院であるとともに、それを支える教育、学術研究に力を入れた人材教育を行っています。医師にとって大切な初期研修期間を豊富な症例を経験できる当院で過ごし、将来への礎を築きましょう。

教育研修センター統括部長
飯室 勇二

市中病院全国トップクラスの研修医数

恵まれた研修環境

1. 総合研修プログラム

- 選択診療科について
- 2年間の研修期間のうち48週間の自由選択期間を活用し、一人ひとりの多様なニーズに応えることが可能です。
- 必修科目について
- 内科研修では「循環器・糖尿病内分泌」「呼吸器」「消化器」「腎臓・リウマチ膠原病」「総合診療・感染症」の中から3つを選択していただきます。
- 救急科研修では高度救命救急センターにて三次救急を8週間研修します。
- 精神科は専門病院である山梨県立北病院で研修を行います。
- 地域医療研修では10つの地域医療拠点病院から研修場所を選択可能です。
- 2年次に行う一般外来研修では、院内・外の指導医のもと継続的な診察が経験できます。

総合研修プログラム	1週～4週	5週～8週	9週～12週	13週～16週	17週～20週	21週～24週	25週～28週	29週～32週	33週～36週	37週～40週	41週～44週	45週～48週	49週～52週
1年次	選択科	内科1	内科2	内科3	救急科	麻酔科	外科	小児科	産婦人科				
2年次	精神科	選択科	地域医療	選択科									

2. 産婦人科・小児科重点プログラム

- 上記総合研修プログラムをベースとし、更に充実した小児科・小児外科・新生児内科研修及び、産科・婦人科研修のさらなるニーズに合った研修スケジュールが選択できます。
- 当プログラムのみ山梨大学小児科での研修が可能です。

産婦人科・小児科重点プログラム	1週～4週	5週～8週	9週～12週	13週～16週	17週～20週	21週～24週	25週～28週	29週～32週	33週～36週	37週～40週	41週～44週	45週～48週	49週～52週
1年次	選択科	内科1	内科2	内科3	救急科	麻酔科	外科	小児科	産婦人科				
2年次	精神科	選択科	地域医療	小児科および産婦人科	選択科								

3. 連携体制

- 協力型病院
- 山梨県立北病院、山梨大学医学部付属病院、山梨赤十字病院、富士吉田市立病院、都留市立病院、大月市立中央病院、上野原市立病院、飯富病院、市川三郷病院
- 協力施設
- 山梨市立牧丘病院、北杜市立塩川病院、北杜市立甲陽病院、富士川病院、甲府市保健所、石和共立病院、山梨県厚生連健康管理センター、道志村診療所



first step
voice

研修医からのメッセージ
医師としての基礎を身につけるために

Message

山梨県立中央病院

初期研修医

研修医基本理念

すべての研修医が確かな知識と医療技術を礎に成長を続け、患者に信頼され安心を与え、自信をもって医療を行うことができる医師に育つ。

基本方針

- 1 基本的な手技・知識・問題解決能力を身につける
- 2 Professionalな医師を目指す
- 3 コミュニケーション能力を身につける
- 4 山梨の医療を考える
- 5 学術的探求と臨床研究能力を習得する

first step voice

研修医からのメッセージ

医師としての基礎を身につけるために

Message

矢嶋 高

東京医科大学 卒業

1年次

山梨県立中央病院に初めて見学に来た時、医師を含めスタッフの方々がいきいきと仕事をし、明るく笑顔で患者さんに接する姿をみて当院の雰囲気の良さを感じました。研修内容も充実していると感じます。私自身研修を始めてまだ間もないですが、採血やルート確保などの基本的な手技から、喉頭内視鏡や鼻ポリープの切除などのやや高度な手技まで幅広く手技をやらせてもらっています。

二次救急では研修医が主体的に対応にあたり、first touchから検査、治療方針の検討、他科へのコンサルトまで行います。勿論その分大変なこともあります。確実に力は身につくと思います。またそんな中でも重層屋根瓦方式の研修システムによって上級医を含む先生方にいつでも相談できる点は、研修医という立場としては大変安心感があります。最後に、試験にマッチングに勉強とストレスが多い学年だと思っています。無理しすぎず頑張ってください。応援しています。



Message

伊藤 まい

北里大学 卒業

2年次

山梨県立中央病院での初期臨床研修の魅力は、二次救急とアットホームな雰囲気にあると思います。当院は県内の救急医療の中核を担っており、二次救急においても当院が引き受ける患者数は県内で最多となっています。二次救急では研修医が主体となって診察から初期治療や他科へのコンサルトまで行います。初めは右も左も分からない状態で戸惑いや焦りもありましたが、多くの症例を経験していくうちに、知識・経験・度胸がつくようになります。また、二次救急の場には必ず上級医がいて、相談やフィードバックを行うため、積極的に学んでいく姿勢が自然と身につきます。上級医の先生方は熱心で気さくな方ばかりで、研修医同士も非常に仲が良く、日々楽しく医療を学ぶ事ができます。

私は出身も大学も県外ですが、疎外感は全く感じず、充実した研修生活を送っています。皆さんと共に働ける日を心待ちにしています。



Message

松尾 耀乃

産業医科大学 卒業

1年次

当院での初期研修を選んだのは、豊富な診療科が揃っており、スーパーローテート方式でgeneralに病棟管理を学びながら、市中病院ならではのCommon Diseaseも経験できると考えたからです。2ヶ月間の救急科ローテート時には三次救急を、当直の際には二次救急に携わることができ、初期研修の要である、救急の初期対応に触れる機会が沢山ある点も魅力でした。

以前まで、山梨とは縁もゆかりもありませんでしたが、上級医の先生方やコメディカルの方々に恵まれ、おかげさまで積極的に診療に参加できています。一学年は25人ほどで、相談できる同期や先輩方が多いのも支えになっています。着実にできることが増えていく喜びを日々感じており、ここを選んで良かったと実感しています。山梨の中核病院である当院には、一人前の医師になるための修練を積める環境があります。ぜひ一度、当院の雰囲気を見学にいらしてはいかがでしょうか？



Message

長井 陽汰

山梨大学 卒業

2年次

私が当院を志望した理由は救急対応力を身につけつつ、将来の志望分野に沿った研修を行うことが出来るからです。当院の二次救急では研修医自ら診察、治療方針の検討、上級医へのコンサルトまで行います。判断に迷うような場面では上級医の先生に相談しながら診療を行います。フィードバックもあり実践的な力を養うことができます。また、私は小児科重点プログラムで研修を行っていますが、小児科の研修では救急外来での初期対応を中心に幅広い症例を経験できます。新生児内科での研修を選択することも可能で、超出生体重児を含む新生児の集中治療に携わることができます。研修医のうちから専門的な診療を経験でき、実際に研修して多くの学びを得られました。

当院では一人ひとりの将来に必ず役に立つ研修を行うことができます。語り切れない多くの魅力があるので興味のある方はぜひ見学にいらしてください。皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています。



09 TOTAL PROGRAM

合計9つの研修プログラム
プロフェッショナルな医師を目指す



育成プログラムの概要

初年度から自由度の高い研修が可能です。
サブスペシャリティを早めを目指すことも
できます。二次救急経験により
総合内科的力を身につけることができます。

地域医療の最後の砦として、地域密着の医療を提供すると同時に、山梨県の様々なセンター機能を担う、密度の高い専門医療を行っています。ゲノム解析センターを持つ、がん診療に特化した総合病院です。専攻医も学会活動で発表するなどやりがいにあふれた環境です。各領域の専門医に対してリアルタイムに相談が可能で、躍動感ある医療現場への参加が実感できます。

Program No.

01

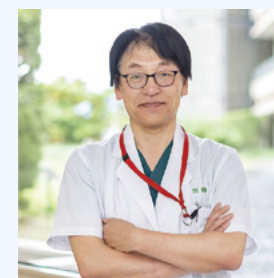
山梨県立中央病院

内科専門研修プログラム

Message

優れた指導医と豊富な症例のもとで深める臨床研究
磨かれるリサーチマインド

募集は6名です。2023年度は4名、2024年度は6名の専攻医が当院プログラムに参加しています。山梨大学、東京医科歯科大学、千葉大学、杏林大学、他、基幹施設の連携施設でもあり、現在15名の内科専攻医が活躍をしています。51名の初期臨床研修医と共に重層屋根瓦方式で、臨床技術、臨床研究マインドを高めあえる現場です。医療人としての基礎を固め、世界に羽ばたいていく。そんなスピリッツを持った人材を待っています。



内科専門研修プログラム統括責任者
梅谷 健



Message

山梨の基幹病院として急性期・高度医療を担う
多くの症例数を経験に、学術的な研修も十分

当院は山梨県の基幹病院として急性期・高度医療を担っています。山梨県民に的確な「ロボット支援下手術やゲノム医療」などの先端医療を提供するとともに、高いレベルの医療を支えることができる外科医を育成することを使命としています。外科医としての第一歩を踏み出す若者が、元気に将来の希望をもって働き、研修を積むことができるプログラムを提供できるよう指導医が一丸となって取り組んでいます。



外科専門研修プログラム統括責任者
羽田 真朗

育成プログラムの概要

“魅力ある外科”へ
当院で一歩を踏み出そう

外科医を必要とする患者さんは非常に多く、また習得すべき手術方法も進化し続けています。外科は、天職として選択するには、大変魅力ある診療科です。我々と一緒に魅力ある外科の道に踏み出しましょう。

消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、および乳腺外科のいずれかをサブスペシャリティとし、それに連動した研修スケジュールを設定することができます。一方、サブスペシャリティを特定しない外科全般の研修も可能です。

すべての領域において十分な症例数を臓器専門医指導のもとに経験することができ、学術的な研修も十分にできる体制をめざしています。

当院の年間外科手術数は約2,000例、3年間で12名の専攻医を受け入れることができます。2025年度は4名を定員として募集いたします。山梨県内外の13病院が連携施設となっており、6か月を連携病院で、2年6か月は当院で研修する予定です。専攻医のサブスペシャリティ研修の希望に合わせ、研修スケジュールを組むことができます。

※ 当院では、「da Vinci Xi」などのロボット支援下手術や、ゲノム医療などの高度医療に興味のある若手医師を積極的に募集しています。



育成プログラムの概要

連携病院との豊富な人事交流で
お互い刺激しながら救急医療の
研鑽を積むことができます！

Message

サブスペシャリティとして数多くの専門医を取得し
術者・担当医として退院まで自己完結を目指す

様々な疾患に対して手術、IVR、ECPRなど多くの指導医のもとに経験することができます。担当医制ではありますが、休日は完全なOFFが取れ、プライベートの時間も確保できます。女性医師も複数名在籍しており、体力面の不安や出産・育児への負担にも配慮します。重症外傷、重症熱傷、重症敗血症、心停止など「こんな重症患者も救うことができるのだ」という経験が積めるやりがいのある環境です。



救急科
専門研修プログラム統括責任者
岩瀬 史明



当院は県内唯一の救命救急センターとして山梨県全域より年間2,000例以上の重症患者を受け入れています。ドクターカー・ドクターヘリによる病院前診療は、24時間365日県内全域をカバーし、重症外傷、敗血症を伴うような急性腹症の緊急手術や脳血管から全身のIVR、集中治療管理までを一貫して実施しています。サブスペシャリティとして数多くの専門医を取得した指導医のもとで、術者・担当医として退院まで自己完結的な診療を経験できます。特殊な病態に対しては他科との連携も良好で専門性の高い疾患にも対応しています。また県内外の多数の施設と連携し、ER、集中治療、地域医療を行う中で救急医として幅広い臨床経験を積むことができ、救急科専門医だけでなく、ダブルボードを目指すことも支援しています。

信頼され進歩する 小児科医としての基礎を作る

最初の半年間は当院で基本的な小児診療を研修し、続く半年間は山梨大学小児科で慢性疾患や希少疾患の診療を中心に研修します。2年目以降は、連携病院では小児の地域医療の研修を、当院では希望を考慮しながら小児科・新生児内科での柔軟な研修を1年間ずつ行います。各施設の特徴を活かした小児医療全般の研修を通して、子どもの身体だけでなく心や家族などの社会的背景まで含めて全人的に診療する小児科医としての基本技能を3年間で習得します。サブスペシャリティを持つ指導医や先輩が多く在籍する環境であり、自分の未来像を描くことができます。



Program No.

04

山梨県立中央病院

小児科専門研修プログラム

Message

多様な小児疾患診療と総合周産期センターでの新生児医療を担う
地域小児医療の経験やサブスペシャリティの基礎研修も可能

当院は山梨県の中核病院であり、小児科は急性期疾患を中心に一次から三次医療まで多様な症例を診療しています。新生児内科は総合周産期母子医療センターの一翼を担っており、超未熟児を含めた重症新生児の高度医療にあたっています。山梨大学小児科や地域医療施設での研修を取り入れた3年間のプログラムにより、小児科専門医として必要な考え方や技術の獲得が可能です。多様な技能や経験を持った先輩が待っています。ぜひ、私たちのチームに入ってください。

年	1年次				2年次				3年次			
月	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
専攻医A	小児科			山梨大学				地域連携施設	小児科／新生児内科			
専攻医B	小児科		山梨大学		小児科／新生児内科							地域連携施設

山梨県立中央病院小児科専門研修プログラム 研修モデル



小児科専門研修プログラム統括責任者
星 合 美 奈 子

Program No.

05

山梨県立中央病院

産婦人科専門研修プログラム

Message

研修生の積極的に取り入れる
2024年度から運用の新プログラム
各領域のサブスペシャリティ取得が可能

当院は日本産婦人科学会の研修施設であるだけでなく、日本周産期・新生児医学会、日本超音波医学会、日本産婦人科内視鏡学会、日本婦人科腫瘍学会の研修施設に認定されており、各領域のサブスペシャリティ取得が可能です。募集人数は3名です。2024年度から運用の新しいプログラムなので、研修先や研修内容などの希望や提案を積極的に取り入れ、常に専攻医の先生とともにプログラムを成長させていきたいと考えています。



産婦人科専門研修プログラム責任者
坂 本 育 子

県内唯一の総合周産期センター
婦人科ロボット手術の件数も国内有数!!

山梨県内唯一の総合周産期センターとして、年間に約90件の母体搬送を受け入れています。NICUと連携し、妊娠高血圧症候群、切迫早産、多胎妊娠、胎児発育不全といったハイリスク症例を中心に年間約700件の分娩管理を行っています。また、婦人科の手術は年間500例以上あり、ロボット手術の件数は国内でも有数の施設です。さらに婦人科悪性腫瘍手術も県内で最も多く行っており、良性、悪性腫瘍の手術修練として十分な施設となっています。

1年当院での研修を行ったのち、1年大学病院での研修、また地域での研修が基本となりますが、県外の施設とも連携が可能です。3年目は今までの研修内容と希望を相談の上、どのような研修施設が良いかを決定します。



慢性・急性期・身体・精神・
社会的問題を問わず、ひとつの臓器に
とどまらず、全人的医療を目指す
オールラウンダーとして活躍を

まず山梨県立中央病院総合診療科・感染症科で病棟診療、外来診療をみっちり研修します。後期研修1年目ではどんな患者さんでも問診と診察を徹底し、診断を付ける方略を身につけます。2年目では身につけたスキルを地域医療機関で実践し自分の得手不得手を確認します。3年目は仕上げです。中堅医師として若手医師の教育、マネジメントやリーダーシップを学び実践します。プログラム終了後は、総合診療専門医受験資格を得て、病棟総合医となるか、サブスペシャリティとして内科プログラムに参加することも可能。また、当科は2017年から山梨県で数少ない日本感染症学会認定施設ですので、感染症科医を目指すこともできます。



Message

幅広い領域を診る専門家として問診・診療を徹底し
オールラウンダーとして医療に貢献

「よくある病気、困っていることなら何でも診ることができる」というのは、逆説的ですが、専門家でないとできません。総合診療プログラムでは、比較的大きな病院で活躍できる総合内科医を育てます。慢性・急性期・身体・精神・社会的問題を問わず、中枢神経・循環器・呼吸器・腎臓・消化器などの臓器も問わずオールラウンダーとして活躍できる総合診療内科医と一緒に目指しませんか？



総合診療専門医研修
プログラム統括責任者
三河 貴裕



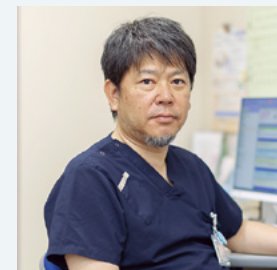
外傷のスペシャリストを目指して

整形外科の分野は幅広く、慢性運動器疾患やスポーツ障害・外傷および労働災害や交通事故によって発生する運動器疾患に関して、診断、治療ならびにリハビリテーションなどを適切なタイミングで実行する必要があります。当院では特に、三次救急を扱う高度救命救急センターと連携して、脊椎外傷や重度四肢外傷の症例を数多く経験することができます。その中で患者さんの回復（未来）を最大限引き出せるような治療介入ができる整形外科医の育成を目指しています。

Message

高度救命救急センターとの連携により豊富な外傷症例を経験
上級医の指導のもと多くの症例を執刀できる

当院の整形外科は医師11名（日本整形外科学会専門医6名）の体制で、整形外科のほぼ全分野に対応しています。2020年4月より脊椎専門医と運動器腫瘍専門医が加わりさらに充実した研修が可能となりました。専門医を目指す若手整形外科医も多く勤務しており、同年代で切磋琢磨できる環境が整っています。年間の手術件数は約1,000件、三次救急を扱う高度救命救急センターがあるため外傷患者が多く、上級医の指導のもと多くの手術症例を経験することができます。



整形外科地域専門研修
プログラム統括責任者
佐久間 陸友



麻酔科管理症例は4,000例以上、 幅広い症例の経験が可能

多発外傷や緊急循環器疾患、体外循環患者、脳神経外科などの広い分野での緊急手術の麻酔管理が可能です。またNICUを完備した周産期センターを併設しているため、緊急帝王切開を含めたハイリスク妊娠患者の麻酔管理から、超低体重の新生児の麻酔までも経験することも可能です。がん診療拠点病院でもあるため、高齢者の管理や多彩ながん疾患症例も経験することができます。山梨大学附属病院をはじめとした各中核病院とも連携しており、小児心臓外科やペインクリニック、緩和ケアの分野での症例の補完も容易です。JBOT取得者や心臓血管麻酔専門医、小児専門病院で経験を積んだ小児麻酔認定医も複数所属しており、各分野で専門性の高い麻酔指導を受けることができます。



Program No.

08

山梨県立中央病院

麻酔科専門研修プログラム

Message

幅広い症例の経験を重ねると共に、
チーム医療の素晴らしさも経験する事ができます

2025年度より基幹病院として麻酔科専門研修プログラムを開始します。当院は山梨県最後の砦として、急性期、高度医療を担っており、全職員が高いモチベーションでチーム医療を実践しています。各診療科間の垣根は低く、親密なコミュニケーションのもと多彩な症例の麻酔管理を上級医の指導を受けながら経験することができます。市中病院の強みを生かしたプログラムをぜひ体験してみてください。



麻酔科専門研修プログラム統括責任者
久米 正記

Second step voice

専攻医からのメッセージ
十分な知識・診療の技能を修得した医師を目指す

山梨県立病院機構 専攻医

専門研修プログラムの概要

中央病院では内科、外科、救急科、総合診療科、整形外科、小児科の専門研修プログラム、北病院では精神科の専門研修プログラムの基幹病院としています。専門医を習得する3年間が目安ですが、各専攻医のニーズに応じたプログラムが作成可能です。

基本方針

- 1 多くの臨床経験を積み重ねる
- 2 専門医資格取得を指導する
- 3 臨床研究を英文誌に投稿することを目標とする
- 4 海外留学の物心両面の援助を行う



second step voice

専攻医からのメッセージ

十分な知識・診療の技能を修得した医師を目指す

Message

川瀧 英梨子

産科(産婦人科専門研修プログラム)

私は当院で初期研修を2年間行った後、今年から産婦人科プログラムを選択し専攻医として研修中です。産婦人科プログラムでは3年間のうち、県立中央病院や山梨大学、市中病院などで研修を行います。中でも県立中央病院では、婦人科悪性腫瘍および合併症妊娠や胎児異常、産科救急などを中心に疾患を多数経験できることが特徴です。婦人科では、腹腔鏡やロボット支援手術の認定施設でありその症例数は国内でも上位にあたります。産科ではハイリスク症例の紹介や搬送も多いなか、新生児科と連携した周産期体制が整っており、安全な分娩が実践されています。

現在、私は産科からスタートし先輩医師から診療上の重要なポイントや手術のご指導を受け、毎日有意義な研修生活を過ごしております。一緒に働けることを楽しみにしています。



Message

末木 崇裕

救命救急科(救急科専門研修プログラム)

私は救急科専門研修プログラムを選択し高度救命救急センターにて専攻医として勤務しています。当センターは山梨県唯一の高度救命救急センターであり、特にERT・ERLを含む重症外傷は山梨県全域から当センターへ集まり、とにかく症例数が多いです。ドクターカー、ドクターヘリ運用も行っており、病院前診療、迅速な蘇生、手術、IVR、集中治療管理と24時間365日対応できる自己完結型の救命救急センターを目指し、実践しています。

自己完結型を目指す当センターの特徴として、多彩なサブスペシャリティを持つ医師が多く在籍していることが挙げられます。腹部外科・脳外科・整形外科・IVR・集中治療と救急科が主体となって治療を進めることが多く、専攻医として経験を積むチャンスがいたるところにあります。ぜひ一度見学に来ていただければ、当施設の良し悪しがわかると思います。皆様と一緒に働くことができる日を楽しみにしています。



Message

荻原 悟史

新生児内科(小児科専門研修プログラム)

私は山梨大学で初期研修を終え、当院の小児科プログラムを選択しました。現在新生児内科医として勤務しています。

当院は総合周産期母子医療センターに指定されており、山梨県で唯一極低出生体重児・超低出生体重児を診療している施設でもあります。そのため多くの症例を学ぶことができ、また気管挿管などの手技も幅広く経験することができます。新生児蘇生など小児科医として早期に獲得したい技術も学ぶことができます。

また小児科は急性期疾患を中心に一次から三次医療まで診療することができます。幅広く患者さんを受け入れているためCommon Diseaseから希少な疾患まで経験することができます。当院のプログラムでは山梨大学小児科や地域連携病院での研修も受けられるため小児科医としての下地を作ることができます。ぜひ一度当院に見学にいらしてください。皆様と働ける日々を楽しみにしています。



Message

藤森 賢

総合診療科・感染症科(内科専門研修プログラム)

初期研修終了後は当院の内科プログラムを専攻し、現在は専攻医2年目で総合診療科/感染症科に所属しています。当院の総合診療科/感染症科はCommon Diseaseから専門性の高い疾患まで幅広く経験できるのが特徴です。またマルチプロブレムや社会的背景が複雑な患者さんも多いのも特徴です。日々勉強は大変ですが、様々な疾患や患者さんに会うことができ、とても有意義な研修を送ることができます。また感染症については、Antimicrobial Stewardship Team (AST)として薬剤師、看護師の方と院内の感染症患者さんに関わり、様々な微生物や感染症について学ぶ事ができます。内科疾患を広く学びたかったこと、指導医や先輩医師にロールモデルとなる人がいたことから私は当院の総合診療科/感染症科を研修先に決めました。ぜひ一度当院へ見学にいらしてください。皆様と一緒に働くことができる日を楽しみにしています。



Message

精神科医療の基幹的病院 地域医療の実績、リサーチマインド

北病院の研修では、bio-psycho-socialな視点から、多職種スタッフとともに、精神科医としての知識や経験、対応力を身につけていきます。治療に難渋する患者さんの回復への道を試行錯誤する過程も体験しながら、精神科の高度治療（mECT、クロザピン）や心理療法を使いこなせるようにします。指定医レポート症例を無理なく経験でき、症例発表や学会発表を通してリサーチマインドを高める指導体制も充実しています。予備知識ゼロからでもスタート可能です！



精神科専門研修プログラム
統括責任者
宮田 量治

育成プログラムの概要

初年度はオープンナーベン制によるきめ細かい指導からスタート。本格的臨床研究を含めたリサーチマインドの醸成

北病院は、精神科医として第一歩を踏み出そうとしている若いドクターの皆さんにはうってつけの病院です。当院を受診する患者さんは、急性期から慢性期、思春期から認知症例まで幅が広く、精神科医として経験すべき精神障害が網羅されています。山梨県の精神科医療の基幹的病院でありながら、地域医療の実践の場ともなっているのが当院の特徴です。研修では、オープンナーベン制によるきめ細かい指導が特徴です。

second step voice

専攻医からのメッセージ
十分な知識・診療の技能を修得した医師を目指す

Message

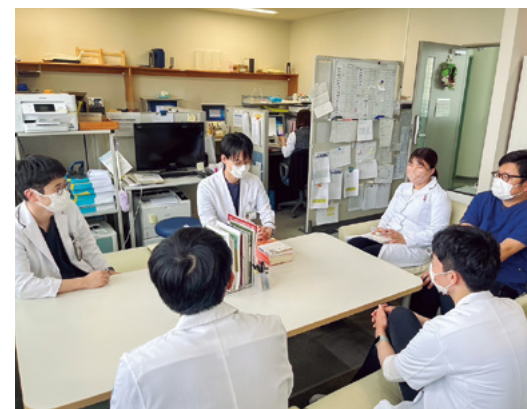
反田 伶

精神科（精神科専門研修プログラム）

私は山梨県立中央病院での初期研修を終え、現在は当院で精神科専攻医として勤務しています。研修医時代にも当院で精神科研修を行いました。

当院の良いところは症例の幅広さと雰囲気の良いことです。精神科救急医療を行っており、県内の急性期症例が集まるため、症例数は非常に多く経験すべき精神疾患は当院では網羅できます。mECTやクロザピンなど、治療抵抗性症例に対する高度な治療経験を積める強みもあります。主治医制のため1年目から主体的・実践的に診療に関わりますが、行き詰まった際はその都度上級医に相談できます。上級医の先生方が経験豊富かつ本当に熱心な方ばかりで、毎日のように相談に乗っていただいております。

精神科を考えている方はぜひ見学にいらしてください！皆様と共に働ける日を楽しみにしております。

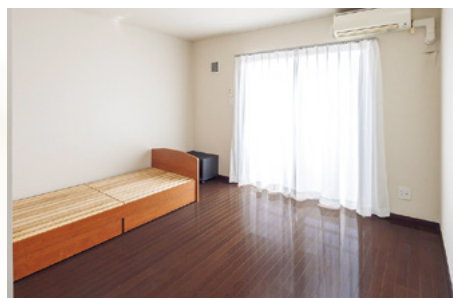


02POINT RECOMMEND

point

01 快適な仕事環境・福利厚生施設

県立中央病院から徒歩3分の寮や、
借り上げ社宅の貸出制度があります！
(研修医にかぎる)



※寮への入居人数が満員の場合には、賃貸物件を借り上げて貸し出しも可能です。



■ 病院内施設の紹介

■ 医局



■ 図書室



PC スペース・ミーティング
スペース併設)

■ 県立中央病院レジデントクォーター

- 住所 甲府市富士見1丁目4番11号
- 建設工事費 2億500万円(本体工事費 1億9,300万円 設計・管理費 1,200万円)
- 構造規模 鉄筋コンクリート造3階建て
- 内部仕上 32.58㎡/室×24室
- 設備 床/フローリング 壁・天井/石膏ボード+ビニルクロス システムキッチン(IH式)、水洗トイレ、ユニットバス、洗面化粧台
- 入居料等 26型液晶テレビ、ルームエアコン、木製ベッド
入居料 12,940円/月、共益費 1,500円/月、駐車料 2,160円 計 16,600円

point

02 処遇について

■ 処遇

■ 身分 研修医
(会計年度任用職員)

■ 給与 1年次 314,700円/月

2年次 324,100円/月

■ 身分 専攻医
(会計年度任用職員)

■ 給与 1年次 458,100円/月

2年次 512,200円/月

3年次 557,200円/月

4年次 601,300円/月

※このほか、時間外手当、当直手当、賞与等が付加されます。※社会保険有り

Information

山梨県立病院機構について

2025 募集要項

初期研修医

■ 募集定員

総合研修プログラム 23名
産婦人・小児科重点プログラム 4名

■ 応募手続

詳しくはホームページをご確認ください。
(採用試験は2回に分けて行います)

■ 応募期間

令和6年6月10日～令和6年8月9日

■ 選考方法

・書類審査
・小論文
・面接

■ 採用の決定

選考結果をマッチング協議会に登録し、
その結果により採用を内定します。

■ 採用までのスケジュール

6月 6日(木) マッチング参加登録受付
7月 16日(火) 第1回選考試験応募締切
7月28日(日) 第1回選考試験
8月 1日(木) マッチング参加登録締切
8月 9日(金) 第2回選考試験応募締切
8月18日(日) 第2回選考試験
9月 12日(木) マッチング希望順位登録受付開始
9月 27日(金) マッチング中間公表
10月 10日(木) マッチング希望順位登録締切
10月 24日(木) マッチング組み合わせ結果発表

専攻医

■ 募集プログラム

内科専門研修プログラム
外科専門研修プログラム
救急科専門研修プログラム
総合診療専門研修プログラム
小児科専門研修プログラム
産婦人科専門研修プログラム
整形外科専門研修プログラム
麻酔科専門研修プログラム
精神科専門研修プログラム

■ 応募手続

(一社)日本専門医機構により
定められた方法に従います。
出願書類は次の通りです。
書類は郵送または持参してください。

■ 出願書類

- ・願書(当院様式)
 - ・履歴書1(当院様式)
 - ・履歴書2(当院様式)
 - ・健康確認書(当院様式)
 - ・医師免許証の写し
 - ・臨床研修修了証または
修了見込証明書
- ※当院ホームページからダウンロード可能。

■ 応募期間

日本専門医機構の
定めた期間による

■ 選考方法

・書類審査・小論文・面接

■ 採用の決定

専攻医登録システムにて
採否の登録をいたします。

■ 中央病院DATA (2024年4月1日現在)

[看護体制] 7対1看護

[入院患者数] 475人(令和5年度一日平均)

[外来患者数] 1,285人(令和5年度一日平均)

[指定病院] 高度救命救急センター、救急告示病院、基幹災害拠点病院、
第1種感染症指定医療機関、総合周産期母子医療センター、
臨床研修指定病院、エイズ治療拠点病院、
がんゲノム医療拠点病院、
がん診療連携拠点病院地域医療支援病院 ほか

[診療科] 総合診療科・感染症科、女性専門科、呼吸器内科、
消化器内科、糖尿病内分泌内科、血液内科、循環器内科、
腎臓内科、リウマチ・膠原病科、神経内科、精神科、小児科、
皮膚科、産科、婦人科、新生児内科、消化器外科、乳腺外科、
呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、
心臓血管外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、口腔外科、
麻酔科、緩和ケア科、放射線科、病理診断科、高度救命
救急センター

山梨県立中央病院の ご案内と病院見学

■ 病院見学を希望される方

当院ホームページより「病院見学申込書」をダウンロード。必要事項記入の上、
下記連絡先までお申込みください。※申込みの受付は、土日・年末年始・GWは除きま
す。※日程調整の都合上、見学希望日の7日前までにお申込みください。

県立中央病院

〒400-8506 甲府市富士見1丁目1番1号

055-253-7111(代)

県立北病院

〒407-0046 韮崎市旭町上條南割3314-13

0551-22-1621(代)

JRご利用の場合

新宿 中央本線 特急あずさ・かいじ 甲府(約1.5時間)
松本 中央本線 特急あずさ 甲府(約2.5時間)
静岡 身延線 特急ワイドビューふじかわ 甲府(約1.5時間)

※甲府駅からタクシーで5～10分





地方独立行政法人
山梨県立病院機構

YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1丁目1番1号
TEL: 055-253-7111(代) FAX: 055-253-8011

研修医・専攻医募集案内

<https://www.ych.pref.yamanashi.jp/kiko/>



病院見学



初期研修



専門研修



YouTube